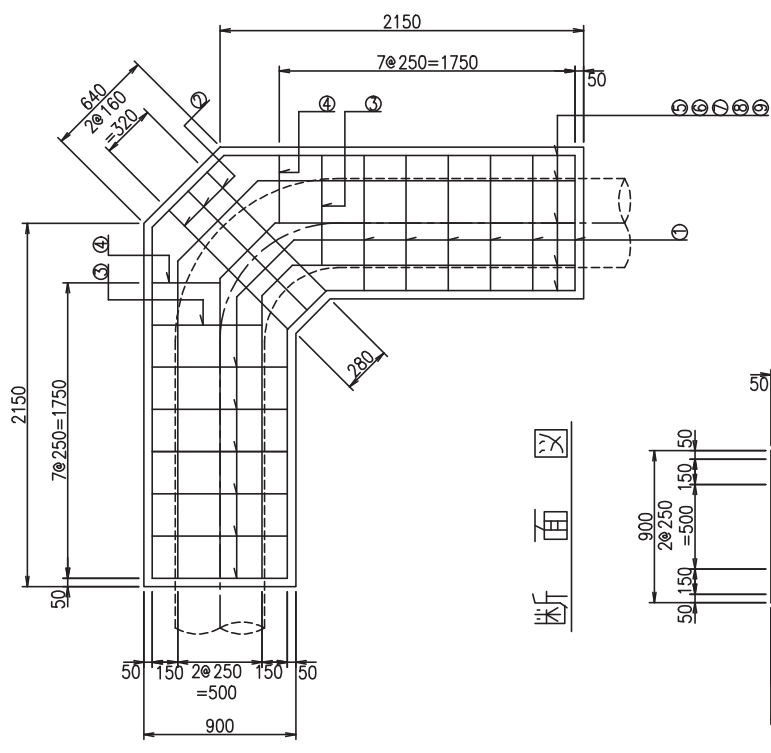
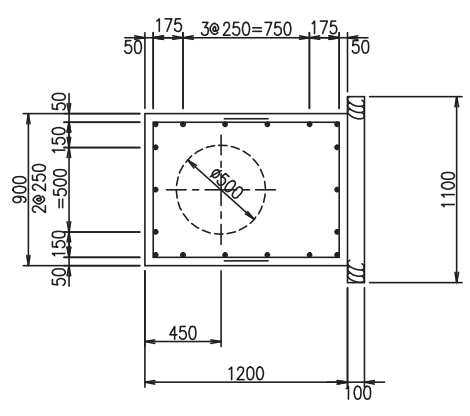


Ⅲ 異形管（水平曲管）防護標準図集

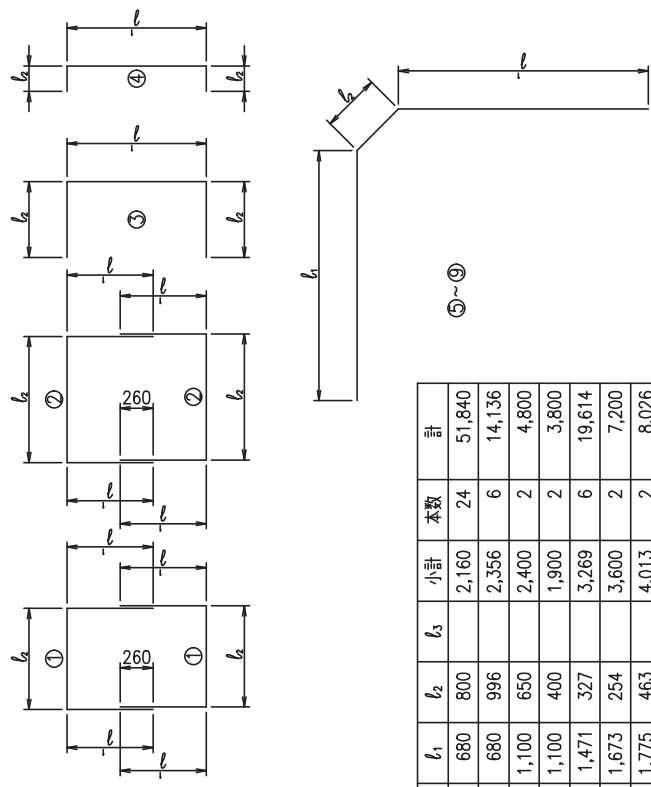
平面図



断面図



配筋加工図

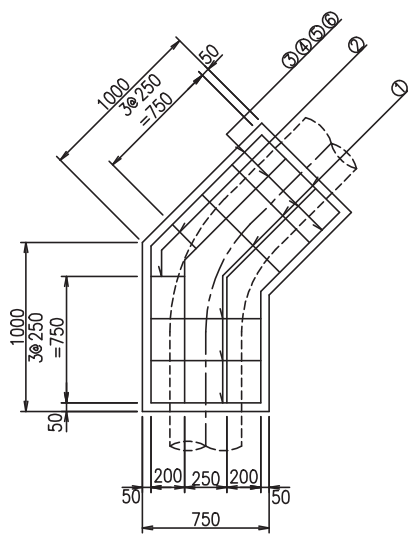


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	680	800		2,160	24	51,840
②	D13	680	996		2,356	6	14,136
③	D13	1,100	650		2,400	2	4,800
④	D13	1,100	400		1,900	2	3,800
⑤	D13	1,471	327		3,269	6	19,614
⑥	D13	1,673	254		3,600	2	7,200
⑦	D13	1,775	463		4,013	2	8,026
⑧	D13	1,877	672		4,426	2	8,852
⑨	D13	2,079	598		4,756	6	28,536
ΣL= 146,804 mm					ΣW=	146 kg	
コンクリート体積 (m ³)					3.65		
砕石面積 (m ²)					4.83		
型枠面積 (m ²)					11.58		

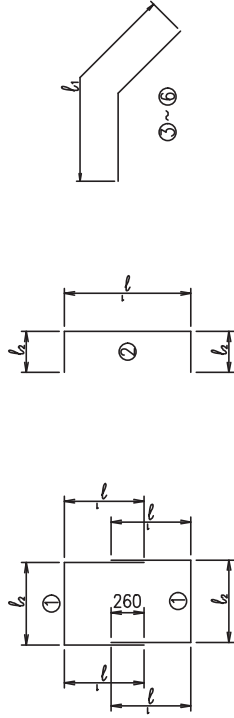
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に振圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎桁等による不同沈下対策を講じること。

90° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ500 (単位:mm)

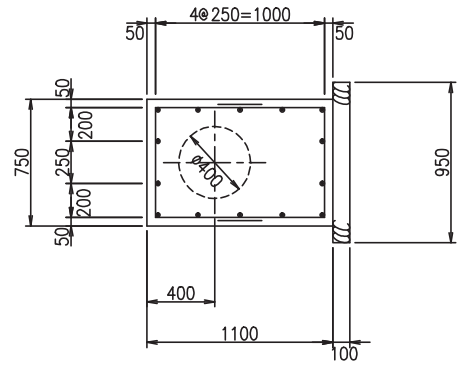
平面図



配筋加工図



断面図

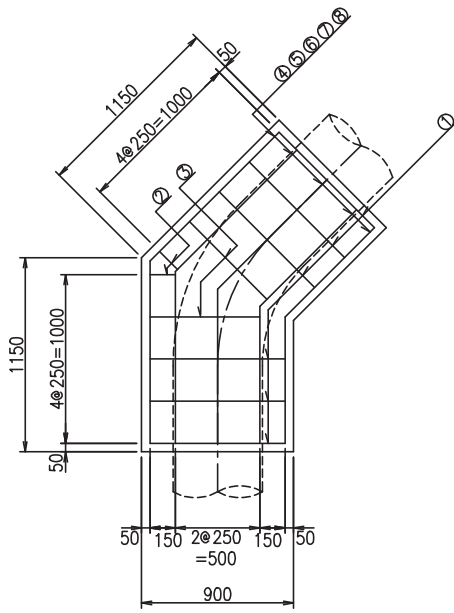


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	630	650		1,910	12	22,920
②	D13	1,000	200		1,400	2	2,800
③	D13	1,320			1,320	5	6,600
④	D13	1,486			1,486	2	2,972
⑤	D13	1,693			1,693	2	3,386
⑥	D13	1,859			1,859	5	9,295
ΣL= 47,973 mm					ΣW=	48 kg	
					コンクリート体積 (m ³)		1.15
					砕石面積 (m ²)		1.81
					型枠面積 (m ²)		5.09

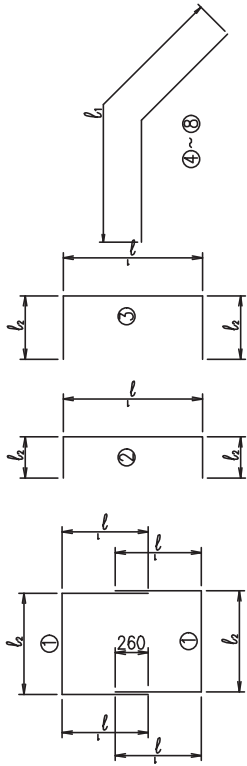
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に碾压すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

45° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ400 (単位mm)

平面図

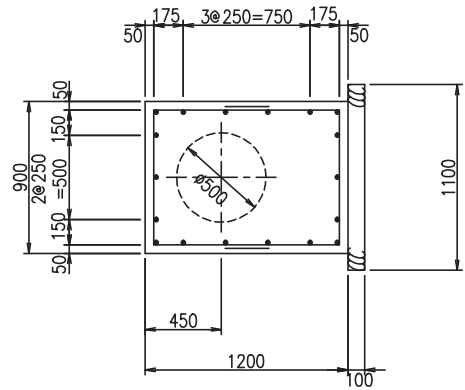


配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	680	800		2,160	12	25,920
②	D13	1,100	150		1,400	2	2,800
③	D13	1,100	650		2,400	2	4,800
④	D13	1,496			1,496	6	8,976
⑤	D13	1,620			1,620	2	3,240
⑥	D13	1,828			1,828	2	3,656
⑦	D13	2,035			2,035	2	4,070
⑧	D13	2,159			2,159	6	12,954
ΣL= 66,416 mm					ΣW=	66 kg	
コンクリート体積 (m ³)					1.65		
砕石面積 (m ²)					2.33		
型枠面積 (m ²)					6.33		

断面図

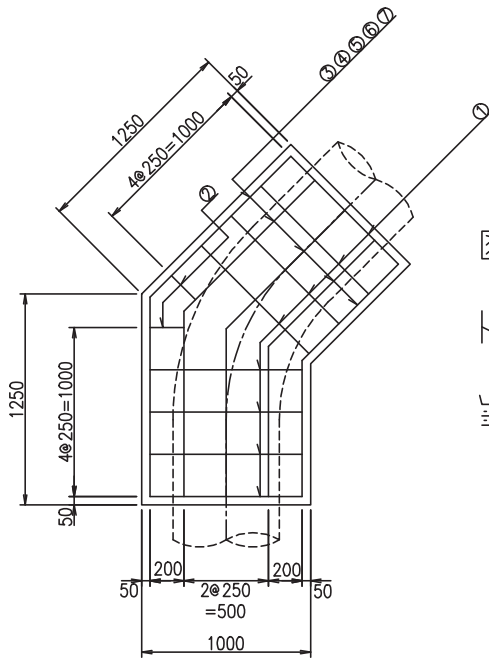
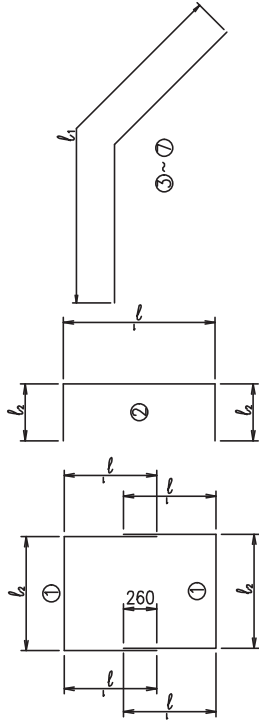


(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に振圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎構築による不同沈下対策を講じること。

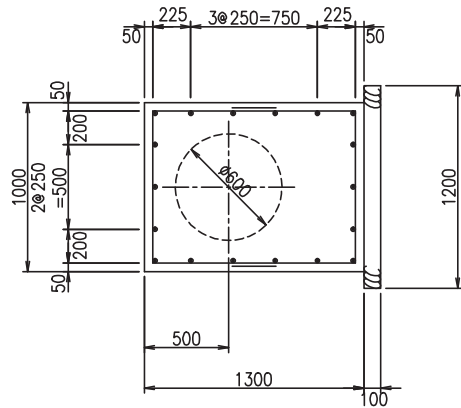
45° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ500 (単位mm)

平面図

配筋加工図



断面図

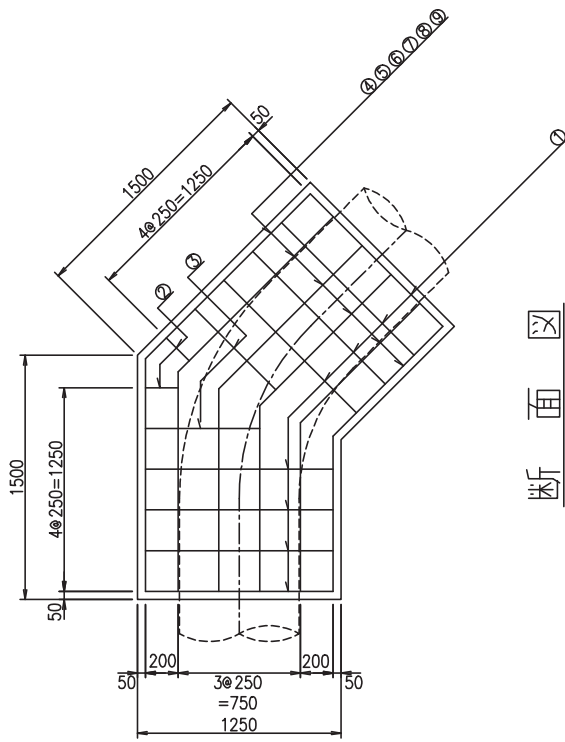


番号	径	l_1	l_2	l_3	小計	本数	計
①	D13	730	900		2,360	16	37,760
②	D13	1,200	200		1,600	2	3,200
③	D13	1,613			1,613	6	9,678
④	D13	1,778			1,778	2	3,556
⑤	D13	1,986			1,986	2	3,972
⑥	D13	2,193			2,193	2	4,386
⑦	D13	2,358			2,358	6	14,148
$\Sigma L = 76,700 \text{ mm}$					$\Sigma W =$	76 kg	
コンクリート体積 (m ³)					2.06		
砕石面積 (m ²)					2.74		
型枠面積 (m ²)					7.39		

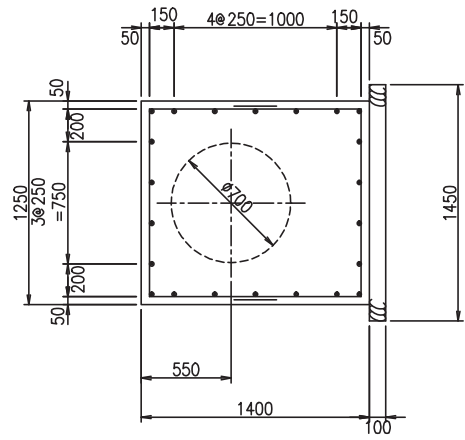
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に振圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

45° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ600 (単位mm)

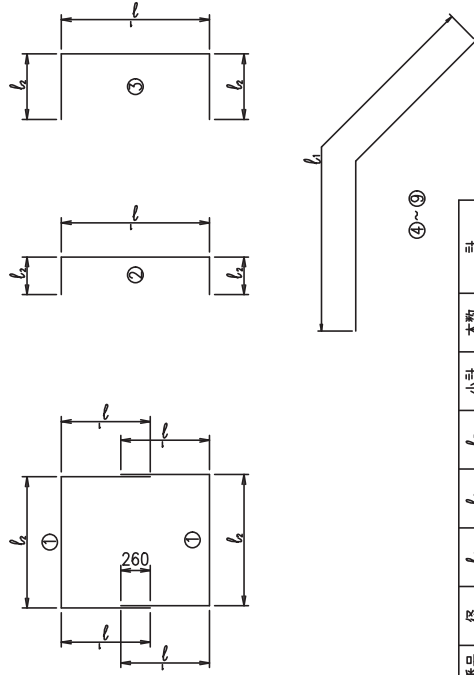
平面図



断面図



配筋加工図

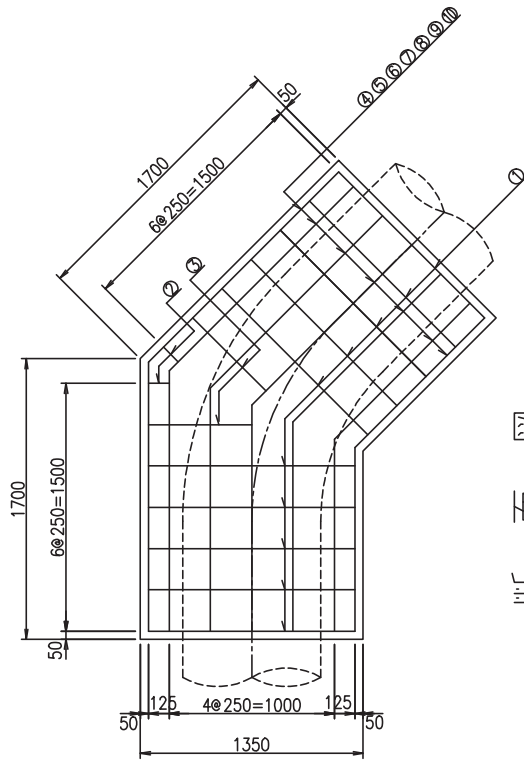


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	780	1,150		2,710	16	43,360
②	D13	1,300	200		1,700	2	3,400
③	D13	1,300	700		2,700	2	5,400
④	D13	1,905			1,905	7	13,335
⑤	D13	2,071			2,071	2	4,142
⑥	D13	2,278			2,278	2	4,556
⑦	D13	2,485			2,485	2	4,970
⑧	D13	2,692			2,692	2	5,384
⑨	D13	2,858			2,858	7	20,006
ΣL= 104,553 mm					ΣW=	104 kg	
コンクリート体積 (m ³)						3.30	
砕石面積 (m ²)						3.89	
型枠面積 (m ²)						9.60	

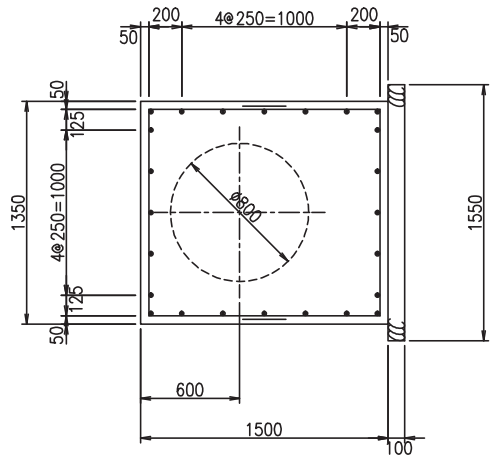
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎積層等による不同沈下対策を講じること。

45° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ700
 (単位mm)

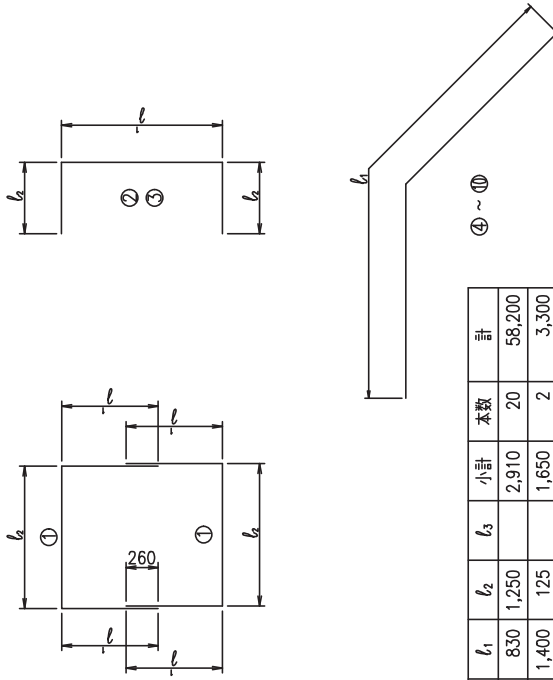
平面図



断面図



配筋加工図



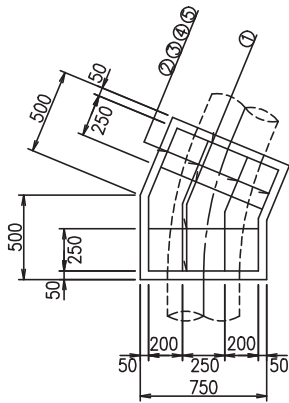
番号	径	l_1	l_2	l_3	小計	本数	計
①	D13	830	1,250		2,910	20	58,200
②	D13	1,400	125		1,650	2	3,300
③	D13	1,400	625		2,650	2	5,300
④	D13	2,222			2,222	7	15,554
⑤	D13	2,326			2,326	2	4,652
⑥	D13	2,532			2,532	2	5,064
⑦	D13	2,740			2,740	2	5,480
⑧	D13	2,947			2,947	2	5,894
⑨	D13	3,154			3,154	2	6,308
⑩	D13	3,257			3,257	7	22,799
$\Sigma L = 132,551\text{mm}$					$\Sigma W =$	132 kg	
コンクリート体積 (m ³)					4.19		
砕石面積 (m ²)					4.71		
型枠面積 (m ²)					11.47		

(注) 1. 砕石は締め均し後、十分に圧縮すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講ずること。

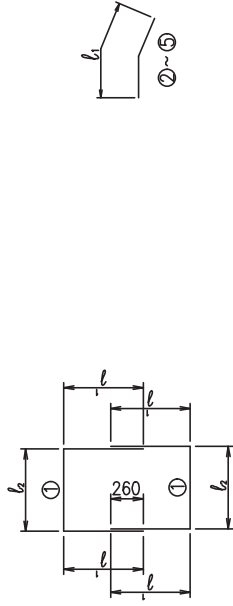
図 2-8

45° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ800 (単位:mm)

平面図

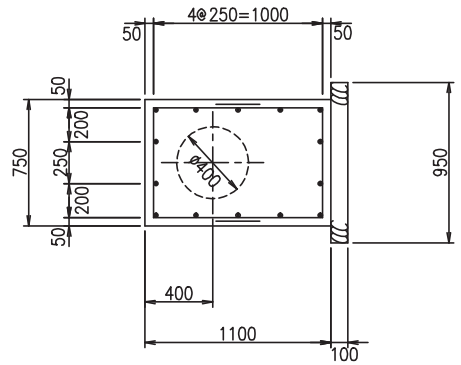


配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	630	650		1,910	8	15,280
②	D13	620			620	5	3,100
③	D13	700			700	2	1,400
④	D13	799			799	2	1,598
⑤	D13	879			879	5	4,395
ΣL=		25,773 mm					ΣW= 26 kg
		コンクリート体積 (m ³)					0.58
		砕石面積 (m ²)					1.01
		型枠面積 (m ²)					3.24

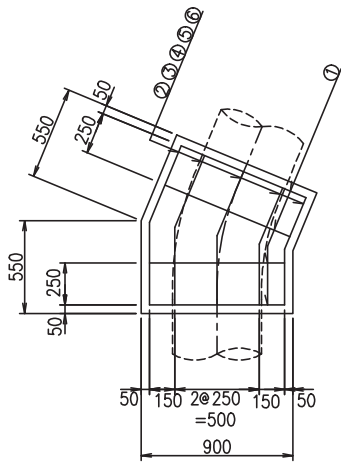
断面図



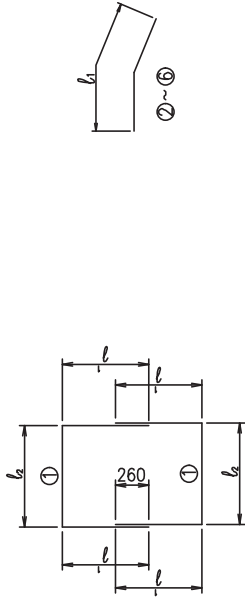
22 1/2° 水平曲管
保護コンクリート
φ400 (単位mm)

- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

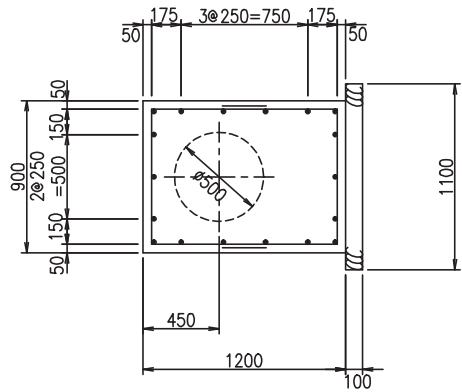
平面図



配筋加工図



側面図

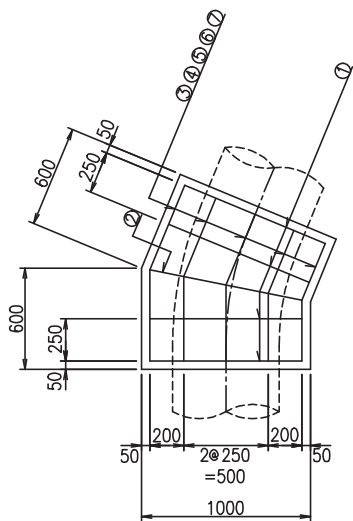


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	680	800		2,160	8	17,280
②	D13	650	330		660	6	3,960
③	D13	720			720	2	1,440
④	D13	820			820	2	1,640
⑤	D13	919			919	2	1,838
⑥	D13	979			979	6	5,874
ΣL=		32,032 mm			ΣW=	32 kg	
		コンクリート体積 (m ³)					0.79
		砕石面積 (m ²)					1.23
		型枠面積 (m ²)					3.93

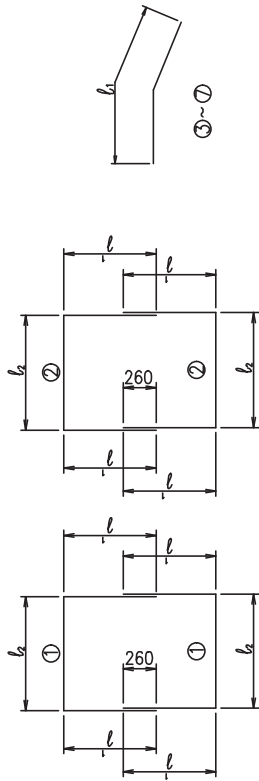
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講ずること。

22 1/2° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ500 (単位:mm)

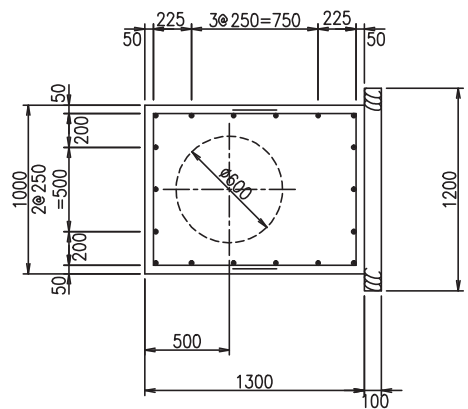
平面図



配筋加工図



断面図

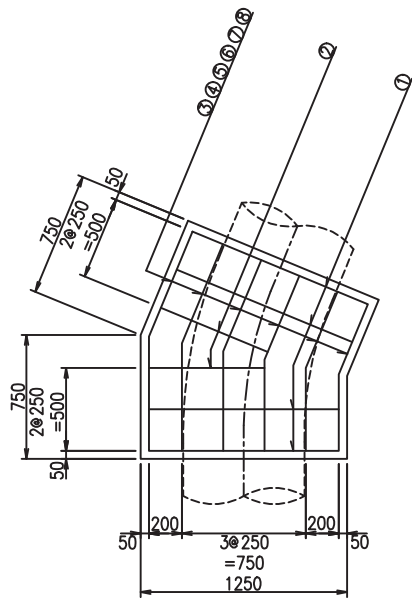


番号	径	l_1	l_2	l_3	小計	本数	計
①	D13	730	900		2,360	8	18,880
②	D13	730	917		2,377	2	4,754
③	D13	722			722	6	4,332
④	D13	803			803	2	1,606
⑤	D13	902			902	2	1,804
⑥	D13	1,001			1,001	2	2,002
⑦	D13	1,081			1,081	6	6,486
$\Sigma L = 39,864 \text{ mm}$							$\Sigma W = 40 \text{ kg}$
コンクリート体積 (m ³)							0.99
砕石面積 (m ²)							1.44
型枠面積 (m ²)							4.58

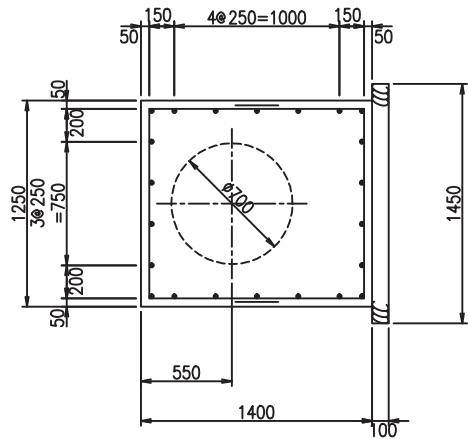
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な埋置力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講ずること。

22 1/2° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ 600 (単位mm)

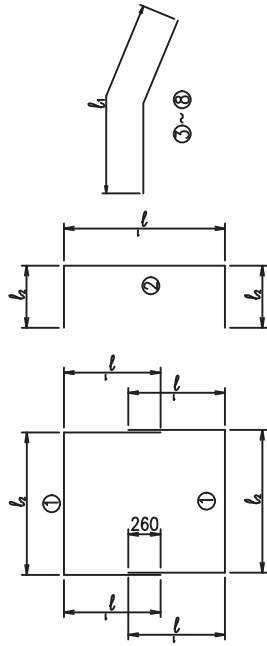
平面図



断面図



配筋加工図

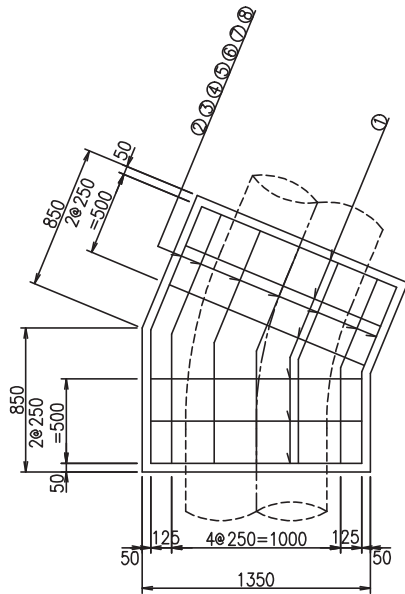


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	780	1,150		2,710	8	21,680
②	D13	1,300	700		2,700	2	5,400
③	D13	923			923	7	6,461
④	D13	1,002			1,002	2	2,004
⑤	D13	1,102			1,102	2	2,204
⑥	D13	1,201			1,201	2	2,402
⑦	D13	1,301			1,301	2	2,602
⑧	D13	1,380			1,380	7	9,660
ΣL=		52,413 mm			ΣW=	52 kg	
		コンクリート体積 (m ³)				1.68	
		砕石面積 (m ²)				2.12	
		型枠面積 (m ²)				6.19	

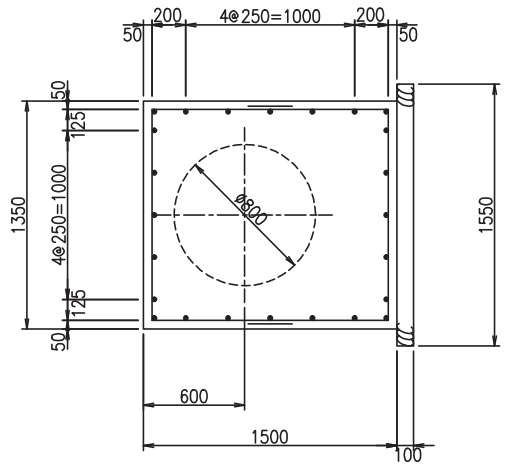
(注) 1. 砕石は敷き均し様、十分に圧縮すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不固状下対策を講じること。

22 1/2° 水平曲管
 保護コンクリート
 φ700 (単位:mm)

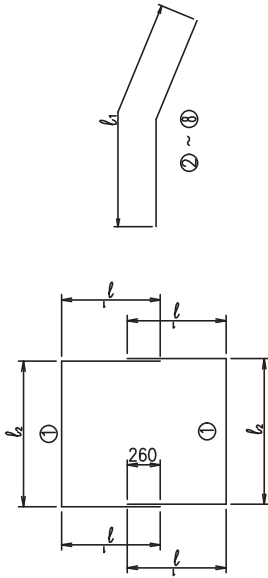
平面図



断面図



配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	830	1,250		2,910	12	34,920
②	D13	1,083			1,083	7	7,581
③	D13	1,133			1,133	2	2,266
④	D13	1,232			1,232	2	2,464
⑤	D13	1,332			1,332	2	2,664
⑥	D13	1,431			1,431	2	2,862
⑦	D13	1,530			1,530	2	3,060
⑧	D13	1,580			1,580	7	11,060
ΣL= 66,877 mm					ΣW=	67 kg	
コンクリート体積 (m ³)					2.12		
砕石面積 (m ²)					2.54		
型枠面積 (m ²)					7.27		

22 1/2° 水平曲管
保護コンクリート
φ 800
(単位mm)

(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に密圧すること。
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講ずること。